



電気は、照明・電気製品をはじめ、工場の動力など用途が広く、そのうえ、クリーンで安全

**電気**  
蓄えができない  
輸入もできない

# 省エネルギーは あなたの手から

ガソリンスタンドの日曜・祝日休業、マイカー通勤の自粛、冷房温度の調整——など、国を挙げて「省エネルギー時代」への対応を急いでいます。産業・輸送・民生すべてのエネルギー需給の約七割を石油でまかない、その石油の九・七％を海外から輸入しているわが国にとって、これからの暮らしを守るために欠かせないのが、省エネルギーの推進です。

エネルギーを、ムダなくとう効率的に使うかは、わたしたち一人一人の心がけにかかっているといえます。

ムダなく上手に使おう

なエネルギーであることから、生活水準の向上、産業の発展とともに、使用量は毎年大きな伸びを示しています。

ところで、この電気の約七割は石油を燃料とする火力発電によるものです。しかし、わが国の石油は、ほぼ全量を海外に依存しており、増加する電力需要をまかなうだけの石油を確保していくことは、

**石油消費  
節減のため  
給油所の  
日曜・祝日  
休業に  
ご協力下さい。**



資源エネルギー庁

年々むずかしくなってきました。

このままでは、今までのように、必要なだけ電気を確保することは、むずかしくなるかもしれません。

しかし、電気は節約することができ、電気を上手に、効率的に使うことによって、わたしたちは快適で便利な暮らしを送ることができるようになります。

一年中で、最も多く電気を使うのは八月で、その三分の一はクーラーの使用によるものです。

一日のうちでは、気温が高くなる午後二時前後で、クーラーがフル回転する時刻です。これに高校野球のテレビ観戦が重なると、電力消費はピークに達します。

クーラーの涼風の中で、野球を楽しむ——その一方で、わが国の発電所は「パンク寸前」に追い込まれることになるのです。

毎月第3日曜は  
**家庭の日**  
家族で  
節約の話し合い

ことしは、石油消費量の五％節約という国際的な取り決めに従って、冷房温度を摂氏二十八度程度にするよう、国をあげて努力しています。夏の涼しい日光では、クーラーの使用は、比較的少ないようですが、電力の節約は、冷蔵庫・扇風機・照明など、心がけしだいで、いくらでも節約に協力できます。それが貴重な資源、「石油」の節約にもつながるのです。省資源について、もう一度考えてみませんか。

**節約の  
具体案・実践例  
を募集します**

総理府が、さきごろ実施した「エネルギー・資源節約について」の一般国民の意識調査によると「あなたの周囲には、節約できるものがあると思うか？」に対して、次のような結果が出ています。

- そう思う 五六％
- ある程度はそう思う 三四％
- あまりそう思わない 五％
- そうは思わない 二％
- わからない 三％

計 一〇〇％

また「節約の心がけの程度」では、○常日頃心がけている三九％  
○心がけるように努めている四六％  
○あまり心がけていない一二％  
○心がけていない二％  
○わからない一％ となっています。

さて、あなたや、あなたのご家庭では、いかがでしょうか。節約についての工夫をこらし、実践している方の具体例をお知らせください。

どんなことでも結構です。官製ハガキで、市役所総務課文書広報係までお知らせください。「広報にっこう」紙上でご紹介したいと思います。